

平成 30 年度第 1 回緑のまちづくり審議会における意見回答

愛甲委員

1. 環境保全系統についての課題は、野生動物、外来種等の増加と言った要素へも考慮した施策を立てていく必要があるのでは。

【回答】

→外来種等への対応についても、計画策定時に十分検討したいと考えております。

2. レクリエーション系統については、公園の統合や機能の転換、管理・運営コストや施設の長寿命化、そういったこともシビアに見据えた上で、出来ることと出来ないことのメリハリをつけて公園の整備を市民のニーズに合わせて積極的にやっていく必要があるのではと感じてる。

【回答】

→老朽化した公園の整備については、公園施設長寿命化計画に基づき、市民と意見交換を行いながら改修しておりますが、公園の統合や機能の転換などにつきましては、今後の検討課題といたします。

3. 防災系統は、市民の関心も特に高いので、そこを充実して進めるべき、街路樹も大きくなると危険なので防災という観点での管理が必要では。

【回答】

→9 月の災害を含め、近年の災害状況からも、市民の関心は高いと思われますので、充実した計画づくりに努めます。枯損木等は、発見次第対応しておりますが、街路樹の大きくなった老木につきましては、専門家の意見を参考に適切に対応したいと考えております。

4. 景観構成系統については、ボールパーク等が整備されると、注目される場所になる、その辺を見据えた景観づくりが必要では。

【回答】

→ボールパーク周辺については、自然と調和した景観づくりができるよう、計画策定時に十分検討しなければいけないものと考えております。

5. 北広島市の緑は南北の軸を実現するための方策が希薄なので、次の計画ではどのように具体化していくのかが問われるのでは。

【回答】

→南北の軸を実現するための方策等について、なぜ実現していないのかなどの課題を含め、次期計画策定時には十分検討したいと考えております。

荒井委員

【前回審議会にて回答】

金子委員

6. 衛星画像を用いて数値目標及び環境等の評価手法を具体的なものにしては。

【回答】

→衛星画像を用いた評価手法については、可能性等を含め、今後の課題とします。

7. 評価マップについて、精度を上げ、ホームページ等で市民が見ることができるようなものを作ってはどうか。

【回答】

→ホームページのシステム上の問題もありますことから、評価マップの精度や周知方法等を含めて検討し、可能な範囲の中で対応したいと考えております。

8. 行政区域内だけではなく、広域的な視点で他自治体との連携を次の計画では考えていただきたい。

【回答】

→他の自治体との連携につきましては、今後の検討課題とします。

蕪木委員

9. 街路樹も3、40年経っているので大きくなっており、選定作業も追いつく量ではないため、その辺を計画的に進めていただきたい。

【回答】

→街路樹の剪定につきましては、計画的に実施すべきと考えますが、現状は、ご指摘のとおり追いついていない状況です。今後は計画的な実施が出来るよう努めたいと考えます。

川瀬委員

10. 子育てには緑が多く良い環境ですが、北広島団地の上側にもレクの森のようなレクリエーション施設があると良いのでは。

【回答】

→公園につきましては、目的に応じた整備としており、北広島団地上側には、野球場、テニスコート、多目的広場などの機能を備えた緑葉公園や竹葉公園といった公園がありますことから、レクの森の機能を今後整備することは難しい

ことをご理解ください。

佐藤委員

- 1 1. 市の4割近くが森林であり、農地、林地、雑種地を含めて緑地と考えると、保全していくためには、行政内部の調整など大局的なプランが必要になってくるのではと思います。

【回答】

→農地等の保全につきましては、各種法律に基づくものとそうでないものを含め、色々な角度からの検討が必要であると考えますことから、可能な範囲で計画づくりを進めていきたいと考えております。

また、法令に基づき進められる私有地の開発行為などに対しては、許可しなければならない状況もありますが、行政内部の調整が重要と考えています。

(農業振興地域整備法 森林法、都市計画法、宅地造成等規制法)

- 1 2. 開発に対して何かしらの規制が必要となっていくのでは。

【回答】

→最高裁が下した森林法違憲判決の判例からも、開発行為等に対しての規制は難しいものと考えます。

下屋敷委員

- 1 3. 昨今の豪雨、異常気象に対する対応方法の一つとして、特に森林系を守ってあげることが大切だと思います。

【回答】

→防災という観点からも、森林系の保全は重要でありますことから、所管部署と協議しながら計画づくりを進めたいと考えております。

- 1 4. ボールパーク整備に関連する新設道路に対して、保全しなさいという団体がありますが、該当する部分は誰が持っているのか、市としての対応を知りたい。

【回答】

→大部分が民有地で、一部は市の公園である水辺の広場となっています。また、新設道路のルート選定にあたっては、現在実施している環境影響評価調査や、環境審議会、緑のまちづくり審議会などのご意見を踏まえながら決定したいと考えております。

- 1 5. ボールパークの整備内容は、公表になっている部分はありますが、もう少し踏み込んだものについて、可能な範囲で市民に公表していただければありが

たい。

【回答】

→現在、設計コンペ中であり、詳細な整備内容が決まっていないことから、現段階で公表できるものはありませんが、今後、決まり次第公表するよう努めます。

16. レク関係では、緑の保全も大事ですが、一方でそれらを活用することも考えた方が良いと思います。例えば、たくさんのお金をかけず散策路など。

【回答】

→レクリエーション機能の充実として、計画策定において検討したいと考えます。

17. ボールパーク整備に連動して、駅西口の花壇整備や花の名所をボールパーク内に作ってはどうか。

【回答】

→球団と情報を共有していきたいと思います。

柿澤会長

18. 農地の位置づけが緑・環境の保全という面で非常に重要であるため、こういった関わりを考えていく必要があるのでは。

【回答】

→平成29年6月に都市緑地法等の一部が改正され、緑地の定義に農地が含まれることが明確化されたことから、農地の位置づけに関しても計画に反映させるよう努めてまいります。

19. 仁別・三島の森の有効活用を考えることが必要では。

【回答】

→仁別・三島の森につきましては、水源涵養保安林として指定しておりますことから、有効活用は難しいものと考えますが、今年度に改修が終了する林道三別沢線を含め、利活用について、今後の課題と考えています。

20. サイクリングロード沿いの林地開発が気になるので、規制が非常に難しいというのわかるのですが、緩衝帯を設けるとか何かの措置がとれないのか。

【回答】

→当該地は、特定の開発行為の許可（土石の採取）及び林地開発許可を受けている関係から規制は難しく、また、緩衝帯につきましては、事業終了時には設けることとなっております。

2 1. 野生動物管理や緑の質について

【回答】

→緑が増えることで、生き物の生息圏が拡大する効果が期待できる一方で、過度な緑化は風通しが悪くなり、有害な生き物が繁殖する可能性があることから、緑の質についての配慮も計画への反映が必要と考えております。

2 2. 環境教育、緑の保全の担い手育成などのソフト面にも力を入れていくことが必要では。

【回答】

→緑のまちづくりの推進には、ソフト面がなくてはならないものと考えますので、計画づくりにおいても、緑の担い手育成等、市民と協働した取組について検討します。